



巻取式空中線 HF

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社(ハイテクインター株式会社)の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第1版

2024年10月16日

新規作成

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
 - 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途*での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等十分な配慮をお願いします。
 - 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
 - 本製品を落雷の恐れのある場所などで使用しないでください、故障や火災の原因になることがあります。
 - 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
 - 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
 - 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- * 極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途

本製品に油分、薬品、水分等が付着した場合、格納する前にこれらを乾いた布でふき取るようお願いします。
このような汚れを放置して格納した場合、塗装が剥がれる、表面が痛むなどの恐れがあります。

目次

1. 製品概要	4
2. 梱包物一覧表	4
3. 製品仕様	5
4. 建柱要領	7
5. 撤収要領	11
6. 故障かなと思ったら	12

1. 製品概要

本製品は地上高 5m の HF 用アンテナです。グラスファイバー製マツトを巻取ることにより小型化に成功し、携行性能を向上しました。

2. 梱包物一覧表

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

番号	名 称	数 量
①	5m 巻取式マツト	1
②	支線取付筒	1
③	基盤	1
④	硬質杭(黒)	6
⑤	硬質杭(赤)	3
⑥	杭	6
⑦	支線	3
⑧	収納袋	1
⑨	抵抗管	1
⑩	バラ	1
⑪	無線機接続ケーブル	1
⑫	ダイポール	2
⑬	ダイポール支線	2
⑭	吊上げ線	1
⑮	BNC to N-type コネクタ(⑪に装着済)	1
⑯	BNC バナナ変換コネクタ	1
⑰	フィーダ線	1
⑱	ハンマー	1
※	取扱説明書(本書)	1



3. 製品仕様

3.1 性能諸元

製品型番	巻取式空中線 HF
周波数帯	HF 1.8-30MHz
指向性	無指向性
アンテナ仕様	水平偏波ダイポール
アンテナ利得	2.2dBi
VSWR	1.5:1
出力等級	150W
インピーダンス	50Ω
RF 同軸ケーブル長	アンテナ基部から 15.24m
コネクタ	BNC(オス)
材質	マスト本体:PP グラスファイバー 表面処理:500 デニールコーデュラナイロン
耐環境性	MIL-STD-810G に準ずる 対紫外線耐性
耐風性能	風速 28m/s
動作温度	-20 - +50°C
保存温度	-40 - +70°C
本体寸法	高さ 5m マスト直径 76mm
展開時最大幅	16.76m
収納袋寸法	320mm x 270mm x 250mm
重量(構成品含む)	10.6kg
設置方法	杭と支線で固定
推奨建柱人数	4 人
認定	MIL-STD-810G
製品保証期間	1 年間

<p style="text-align: center;">付属品</p>	<p style="text-align: center;"> 支線取付筒 基盤 硬質杭(黒), 硬質杭(赤), 杭 支線 収納袋 抵抗管 バラ 無線機接続ケーブル ダイポール ダイポール支線 吊上げ線 BNC to N-type コネクタ BNC バナナ変換コネクタ フィーダ線 ハンマー 取扱説明書 </p>
--	---

建柱要領

事故や破損を防止するため、本製品の建柱及び撤収は4名程度で行うことを推奨いたします。

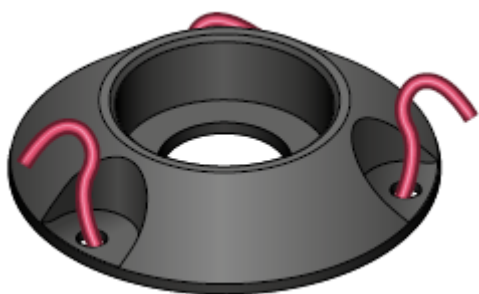
3.1 建柱場所の選定

- 1) 直径5m程度の平坦な場所を選定します。
- 2) 収納袋を開放し本体と付属品の数量が揃っていることを確認します。

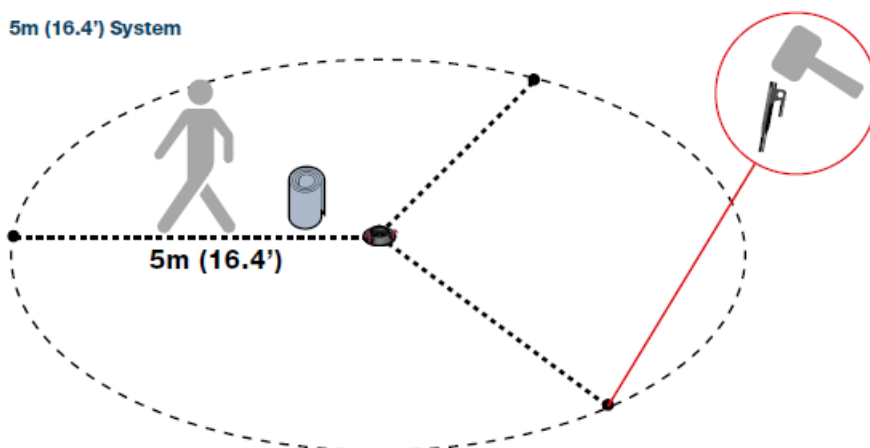
※ 本体と付属品の詳細は2章「梱包物一覧」をご参照願います。

3.2 設立方法

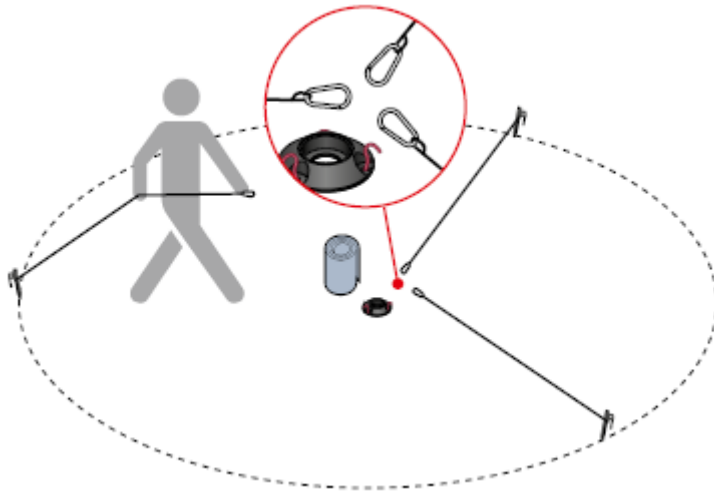
- 1) 人員1: 基盤を建柱場所中央に配置し、赤い杭で固定します。



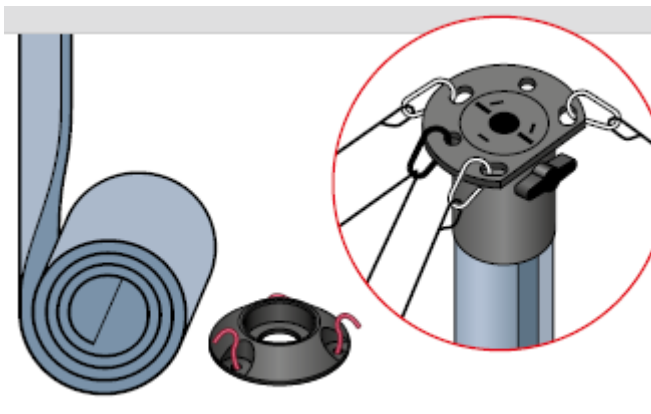
- 2) 人員2, 3, 4: 基盤中央から各120°、5mの位置に杭を植杭します。



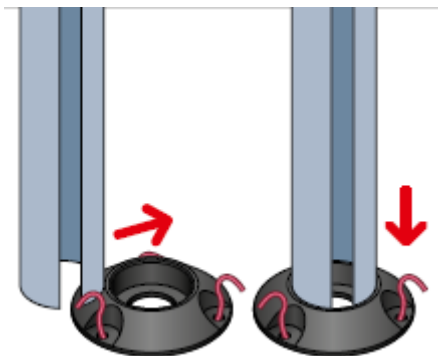
- 3) 人員2, 3, 4: 支線を解いてから伸ばし、杭に接続します。スナップフックを基盤の隣に置き、マストを展開するときに接続できるようにします。



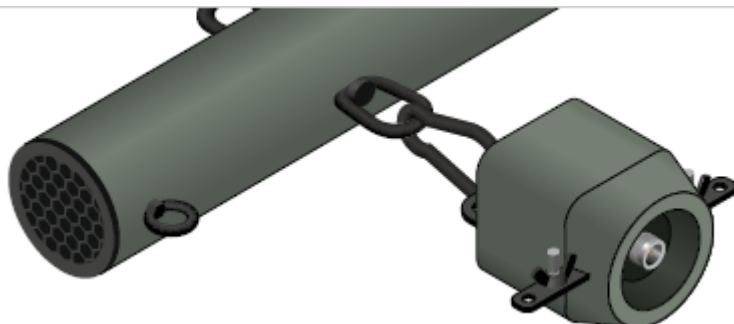
- 4) 人員 1: マストを少しだけ伸ばしてから、支線取付筒を取り付けます。支線取付筒の穴に支線と空中線吊上げ線(下図で黒く描かれているカラビナ)を通します。空中線吊上げ線がマストと一緒に吊り上げられないように保持します。人員 2, 3, 4 が支線ロープに軽く張力をかけ、マストを垂直に保ちながら、マストを垂直に展開し続けます。



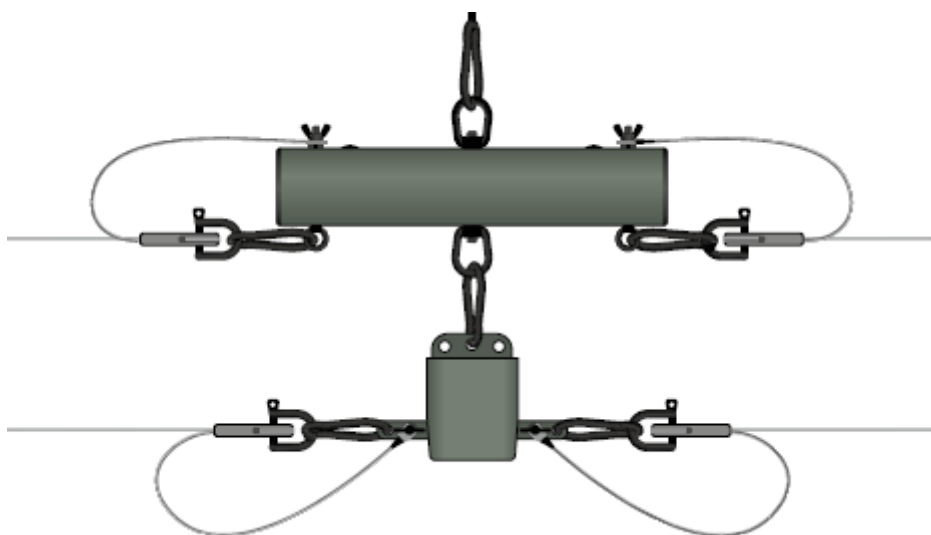
- 5) 人員 1: マストが完全に展開されたら、慎重に基盤へ取り付けます。マストが地面に対して垂直に立ち上がるように調整してください。強風が吹いている場合、風がマストの割れ目に向かって吹き込みマストが倒れるのを防ぐため、必ず風向きを読んでマストが倒れないようにしてください。



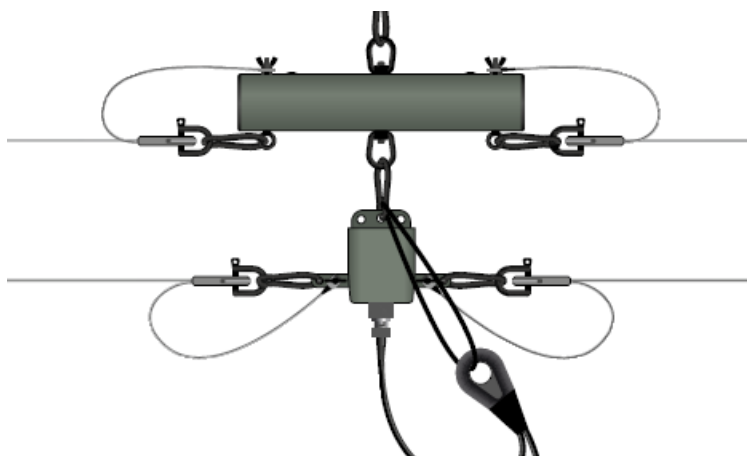
- 6) 人員 2, 3, 4 で支線を緊張させてください。
- 7) スナップフックを使用してバランを抵抗管に接続します。



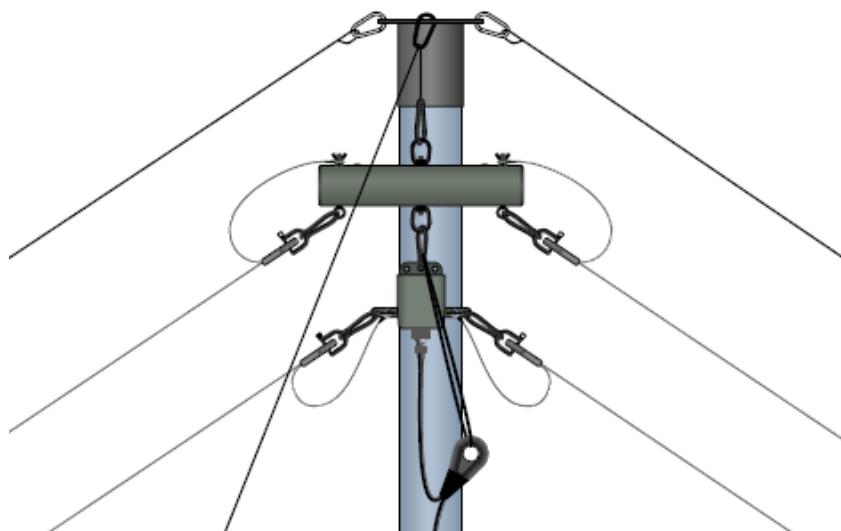
- 8) アンテナダイポールを広げ、抵抗管とバランに接続します。4つの張力緩和用フックが正しい位置に配置されていることを確認します。



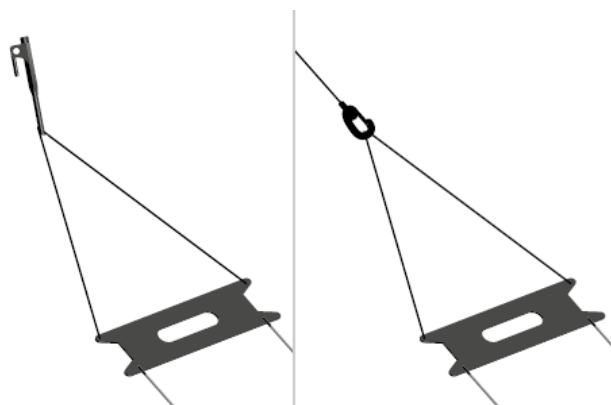
- 9) スナップフックを使用して、吊上げ線を抵抗管の上部に接続します。無線機接続フィーダー線をバランに接続し、その張力緩和線がバランの先端のスナップフックに接続されていることを確認します。



- 10) 吊上げ線を使用してアンテナ部分を希望の高さまで上げます。吊上げ線をベースキャップまたは地面にペグで固定します。



- 11) ペグを使用してダイポールを所定の位置に固定します。必要に応じて、延長用支線をダイポールとペグに取り付け、通常の方法で張力をかけます。



※ 空中線を樹木などに吊り下げて使用する場合は、構成品を全て取り外した状態で、空中線上部の穴にロープを通して使用してください。

5 撤収要領

5.1 構成品の取り外し

- 1) 人員 1 が吊上げ線を用いてアンテナを下げます。
- 2) 人員 1 が基盤からマストを浮かせます。その間他の人員が支線を手で支えます。
- 3) 人員 1 はマストを垂直に立てたまま、下部から巻いていきます。
- 4) 空中線上部の支線取付筒とアンテナ部分を人員 1 が取り外す間、他の人員は支線でマストを支えてください。

※アンテナ部分の破損を防ぐため、取り外しの際、絶対にマストを地面に寝かさないで下さい。

- 5) 各種、構成品を収納袋に格納します。

5.2 杭、及び基盤の撤収

- 1) 基盤用杭、及び支線固定用の杭を地面から抜き取ります。
- 2) 基盤、及び杭を収納袋に格納します。
- 3) 本書の 2 章「梱包物一覧」を確認し構成品の員数を確認します。

6 故障かなと思ったら

6.1 機器故障の可能性がある場合は、修理ご依頼フォーム送信前に、弊社カスタマサポートへご連絡ください。

- 1) カスタマサポートによるお客様環境における故障切り分け方法をご案内します。
- 2) 切り分けの結果、カスタマサポートより故障の可能性が高いと判断された場合は以下の修理ご依頼フォームにご入力お願いいたします。

<https://hytec.co.jp/support/repair.html>

- 3) お客様のメールアドレス宛に“修理ご依頼確認メール”が送られますので、そちらをプリントアウトして故障製品と共にご返送ください。

機器到着後に当社にて最終的な故障切り分けを行います。

6.2 当社は、該当製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理または新品もしくは同等品と交換致します。

ただし、保証期間内であっても以下の場合には有償修理または修理対象外とさせていただきます。

- 1) 自然災害、公害、異常電圧、当社の期に帰すことができない損傷、故障
- 2) 取扱説明書に記載されている使用上の注意事項、及び製品の使用(製品の設置条件、使用電源条件、温度及び湿度条件)に反した使用により生じた損傷、故障
- 3) 接続製品の異常や誤動作および障害を誘発する可能性のある製品(仕様が明確でないもの、開発中など)接続した場合の損傷、故障
- 4) 合理的使用法に反するお取り扱い、及びお客様の維持・管理環境に起因する損傷の場合
- 5) お客様にて製品を分解された場合
- 6) 中古品を購入された場合
- 7) 製造番号(シリアルナンバー)を確認することができない場合

◆ 該当製品の製品保証期間が終了している場合、有償修理について、別途当社の担当者からご連絡させていただきます。

6.3 修理依頼品発送方法について

- 1) 故障製品の送料はお客様にてご負担ください。
- 2) 故障の疑いのある製品のみをお送りください。
- 3) インタフェースが実装された製品は、必ず付属のキャップを付けてご返送ください。キャップが無い場合、粉塵等により故障する場合がございます。
- 4) お客様にて製品本体や構成品に張り付けられた部材やシールは、修理過程で破棄される場合があります。
- 5) 修理完了機器は工場出荷時の状態でのお戻しとなります。設定情報の復元、バックアップはお客様の責任において実施してください。

6.4 初期不良保証期間について

ご購入日より3ヶ月間(当社にて最終的な故障切り分け後、交換機発送による対応)となります。

6.5 修理について

- 1) 修理期間は平均して1.5ヶ月程度かかります。期間中の代替品や貸出機のご用意は致しておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 2) 故障内容によっては新品相当品に交換対応となる可能性があります。
- 3) 交換対応となった場合修理依頼品、または修理交換した部品の所有権は当社に帰属し、ご返却は致しかねます。
- 4) 修理報告は、故障内容・故障部位の特定と処置内容となります。
- 5) 本製品に起因する損害や機械の損失については保証致しません。
- 6) 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

6.6 修理依頼品の保管について

修理依頼品、交換品、または未修理品(修理不可、または修理キャンセル)の返却についてお客様にお知らせをしているにもかかわらず、お客様にて該当製品をお受け取り頂けない場合は、修理受付日から起算して6ヶ月の保管期間の超過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄したものとみなし、当社が該当製品を当社所定の方法に関し、お客様は承諾するものとします。

この場合、お客様は当該処分に要する費用及び保管に要する費用を負担するものとします。

また、有償修理の場合は、別途修理費用または診断費用を請求できるものとします。

6.7 修理保証について

同一不具合事象が再発し、再修理を要すると当社が認めた場合は、修理完了日から3ヶ月以内、または保証期間満了日のいずれか長い期間に限り無償にて再修理をおこないます。

6.8 免責事項について

製品の故障もしくは使用によって生じた製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、当社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。

保証期間を問わず、当社製品の故障・誤動作(未知のセキュリティ脆弱性が発見され、それを悪用された場合を含む)・不具合に起因するお客様または第三者での損害(機会損失・逸失利益・二次損害等)・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・調整作業に対する補償については、当社は一切の責任を負いません。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマーサポート

受付時間：平日(土日祝日、年末年始、当社休業日を除く) 9:00～17:00

TEL: 0570-060030

問合せフォーム: https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html



Copyright © 2024

HYTEC INTER Co., Ltd.